



落語研究会

佐々木正洋 (58)

フリーアナウンサー



手くそなんで
すが、ウケた
んですよ(写

料とVTRを見ながら、
「第1のコース、〇〇君」
なんて読み上げてたら、

桂道楽——慶応大学落語
研究会時代の私の芸名です。

たら、取り込まれちゃった。
落語には、さして興味がな
かったんです。勧誘に乗っ
てたまま落研に入った。

真)。動きや表情がオーバ
ーで、粋ではなかったけど、
ウケると快感でしたねえ。

5人目の時に、みんな飛び
込んだ。あわてて、
「おっと、飛び込みました」

有名な桂三木助師匠とご縁
があつて、桂を名乗ること
を許されたそうです。中で

バムを見てびっくり。友達
が転校する時のお別れ会の
写真なんです、教室の前

路電車に乗ると、先輩に、
「あのお婆さんが退屈して
るようだから、落語やんな
きゃダメだろう」

「アレ、君、落研なんだね。
何か小噺できる？」
もう、天の声ですよ。嬉
々として演じたら、

も「道楽」は由緒ある名で、
私は8代目でした。

「おはなし 佐々木正洋」
と書いてある。小学校2、
3年生のことですが、何か
話した記憶があります。も
ともと人前で話すのが嫌い
じゃなかったんでしょね。

座席の前の床に正座して、
「一席、申し上げます」
なんて、やったりね。テ
レビ朝日に入社してから、
梨元勝さんの後釜で、芸能
リポーターをすることにな
るんですが、落研時代の度
胸が役に立ちましたね。

「君、面白いね」
って言ってもらえて。
芸能リポーターの後は、
「夕刊キャッチUP」とい
うコーナーを16年やりまし
た。記事を映しながら、内
容を一気に喋って、ふと、
間を置く。これも落研で培
ったものが役に立ちました。
今春フリーになりましたが、
あらためて、しゃべり
は間であると感じますね。
そこに味わいを付け加えて
いけたら、と思っています。

北九州から上京して、慶
応法学部に入学。キャンパ
スではいろんなサークルが
勧誘していましたが、落語
研究会の売り文句は、

「飯がタダで食えるよ！」
「いいところだなあ」
と思つて、ご馳走になっ

落研に入ってから、噺
を先輩に教わって、
壁を相手に一生懸命
稽古しました。大学
2年秋の三田祭で、
トリを取って、学生
ながら真打披露を
するんですが、その
ときに「道楽」にな
りました。披露では
「明烏あけがらすをやつて、下

「あのお婆さんが退屈して
るようだから、落語やんな
きゃダメだろう」
って言われて、いきなり
座席の前の床に正座して、
「一席、申し上げます」
なんて、やったりね。テ
レビ朝日に入社してから、
梨元勝さんの後釜で、芸能
リポーターをすることにな
るんですが、落研時代の度
胸が役に立ちましたね。

大学2年、三田祭で大いにウケる

